

2023 年度

福知山公立大学 地域経営学部

地域協働型教育研究報告会

日時：2024 年 2 月 17 日（土）

場所：福知山公立大学 4 号館

《スケジュール》

時間	内容	会場
8:50~	学部長挨拶	4 階 4401 教室
9:00~12:00	1 年生による口頭発表	
12:50~14:20	2・3 年生による発表	1・3・4 階の各教室・会議室
14:30~15:50	4 年生による発表	
15:50~16:00	学長講評	4 階 4401 教室

1年生 「地域経営演習Ⅰ・Ⅱ」 発表スケジュール

時間：9:00～12:00

会場：4階 4401教室

時間	グループ・担当教員	発表テーマ
9:00～9:25	C 福畠真治・大門大朗	福知山市・大江地域での学び
9:30～9:55	A 亀井省吾・張明軍	福知山市三和地域での学び
10:00～10:25	E 木村昭興・杉岡秀紀	廃校活用・地域づくり組織から考える地域PBL (Project Based Learning)
10:30～10:55	D 谷口知弘・小山元孝	地域との協働実践を通してプロジェクトマネジメントを学ぶ
11:00～11:25	B 神谷達夫・中尾誠二	福知山市・夜久野地域での学び
11:30～11:55	F 岡本悦司・川島典子・星雅丈	医療福祉の地域課題を知り世界的視野で解決方法を考える

2～4年生 ゼミ発表 会場一覧

時間：12:50～14:20 (2・3年生) 14:30～15:50 (4年生)

会場	ゼミ担当教員	会場	ゼミ担当教員	会場	ゼミ担当教員
4101	杉岡秀紀	4304	小山元孝・大門大朗	4階 会議室	岡本悦司
4102	佐藤充	4305	中尾誠二	4401	谷口知弘
4103	亀井省吾	4306	山田篤・張明軍	4402	川島典子
4301	井上直樹・木村昭興・鄭年皓	4307	渋谷節子	4403	星雅丈
4302	加藤好雄・三好ゆう・齋藤達弘	4308	大谷杏		
4303	福畠真治・倉田良樹	4309	神谷達夫・佐藤恵		

地域経営演習 I・II (1年生) について

各グループの発表時間・取り組み概要

グループ 担当教員	テーマ・概要 (活動内容・学修のねらい 等)
<p>A</p> <p>亀井省吾 張明軍</p>	<p style="text-align: center;"><u>福知山市三和地域での学び</u></p> <p>《活動内容》 三和地域において、交流観光まちづくり・公共・企業の視点から演習を実施しました。今年度も、本地域で盛んなスポーツであるペタンクを演習に取り入れています。主なフィールドワークは、三和学園との交流、三和荘グラウンドでのペタンク実習のほか、大原神社と民泊施設、瑞穂環境保全センター、新しいものづくりや六次産業化を目指す企業の現場視察などです。なお、当初よりチームを組成し活動を行なってきました。</p> <p>《学修のねらい》 三和町における活動を多角的な視点から見ることで、学びの視座を拡げていくことをねらいとしています。また、地域の協力を得て、ペタンク競技者、三和学園の中学生、大原神社宮司、企業経営者など多様なプレイヤーの皆様と交流することにより、学びの質を深めていくことも、もう一つのねらいとしています。</p>
<p>B</p> <p>神谷達夫 中尾誠二</p>	<p style="text-align: center;"><u>福知山市・夜久野地域での学び</u></p> <p>《活動内容・学修のねらい》 前期は、第1回(5月18日)福知山市夜久野支所・夜久野みらいまちづくり協議会・図書館等の機能が集約された『夜久野ふれあいプラザ』等、第2回(6月1日)大峠地区等の登山愛好者組織『居母山クラブ』、第3回(6月15日)道の駅『農匠の郷やくの』および奥水坂集落、第4回(6月29日)古民家活用『宮カフェ』、第5回(7月13日)農家民宿&お試し住宅『米ya』で各回フィールドワークを行った。 後期は、第1回(10月1日)『居母山クラブ』田圃アート稲刈り体験、第2回(10月26日)『才谷の石田さん宅』訪問、第3回(12月9日)『夜久野学園』中2生との交流は全員で、それ以外は学生が選んだテーマに応じた複数班それぞれ現地を訪問し、実践的な演習を行った。複数の学生は規定授業時間以外にも『米ya』宿泊(12月22日・2024年2月10日)、『居母山クラブ』餅つき参加(12月29日)等で交流を深めた。 これらを通して夜久野地域での取組を学んだ。</p>
<p>C</p> <p>福島真治 大門大朗</p>	<p style="text-align: center;"><u>福知山市・大江地域での学び</u></p> <p>《活動内容》 前学期では、座学として、①福知山市の地域行政や大江町についての講義、②実践手法の学習などを行なった。また、バスによる大江町の視察を2回行い、観光資源を切り口として大江町の地域特性を理解することを心がけた。後学期では、①グルメマップ班、②鬼の面コンテスト班、③ランタンフェスタ班、に分かれ、グループワークやイベント実施などの活動をし、最終回でプレゼンテーションをおこなった。</p> <p>《学修のねらい》 前学期は、地域の方からの講演やフィールドワークを通じて、大江について広く知ることを目指した。後学期では、「大江に貢献できる取り組み」をテーマに、地域住民の協力を得ながら学生主体で活動内容を検討・決定した。実際の活動においては、二年次以後の地域活動に活かせる学修とするため、地域の方と連携を取りながら協働して進め、地域住民に成果を還元できるよう努めた。</p>
<p>D</p> <p>谷口知弘 小山元孝</p>	<p style="text-align: center;"><u>地域との協働実践を通してプロジェクトマネジメントを学ぶ</u></p> <p>《活動内容》 桃映中学校区をフィールドに公民館活動の問題解決を試みる2つのプロジェクトを実践した。 ●桃映地域公民館PJは、公民館と協働で多世代交流の促進を試みた。大学生と子どもや地域住民の交流の場づくりとして紙芝居の読み聞かせや交流カフェを実施した。 ●大正地域公民館PJは、公民館まつりで幅広い世代が交流できるように、スタンプラリーやじゃんけん大会、インタビュー企画を実施した。</p> <p>《学修のねらい》 本学の位置する地元中学校区と小学校区をフィールドに、公民館や自治会との協働による問題発見から解決を試みるプロセスを体験した。この体験から、卒業までの地域協働型教育研究を通して持続可能な地域社会の実現に貢献できる「実践」的能力を育成するために必要な基礎的な力として「地域社会に学び貢献するために必要な姿勢や態度」と「チームで問題解決のプロジェクトを実践するプロジェクトマネジメントの基礎知識」を学んだ。</p>

<p>E</p> <p>木村昭興 杉岡秀紀</p>	<p style="text-align: center;"><u>廃校活用・地域づくり組織から考える地域 PBL (Project Based Learning)</u></p> <p>《活動内容》 1-E クラスは2グループに分かれ活動を展開した。川合チームは、近年、三和町にある旧川合小学校にて、フィールドワークのほか、「かわい元気まつり」におけるニュースポーツの実践やアンケート調査、空き小屋のリノベーションに取り組んだ。庵我チームは、まちづくり協議会準備委員会へのヒアリング、まちなかフィールドワークのほか、地元の地域団体が開催する「世代を繋ぐ着物ショー」に協力し、アンケート調査を行った。</p> <p>《学修のねらい》 本演習では「学びを体験する」をキーワードに、地域のパートナー団体へのフィールドワークを通じて、北近畿、とりわけ福知山市が抱える現状や課題を学ぶとともに、調査における基礎的なスキルを修得することをその目的とした。福知山市内のフィールドワークだけでなく、京都市内や福知山市内の経営者との対話や丹波市の議員、高校生との対話も行った。</p>
<p>F</p> <p>岡本悦司 川島典子 星雅丈</p>	<p style="text-align: center;"><u>医療福祉の地域課題を知り世界的視野で解決方法を考える</u></p> <p>《活動内容》 人口減少や高齢化が著しい中山間地域の現状を知るために、福知山市大江町、雲原地区、宮津市、舞鶴市などにフィールドワークに出かけた。その後、事後学習として元舞鶴市長さんに舞鶴市の医療について講話して頂いたりもしている。今年は、グローバルな視点を養うために、デンマークからゲストスピーカーを招き、デンマークの福祉や医療に関する講話もして頂き、対話式講義によって課題を解決する方法を考えた。</p> <p>《学修のねらい》 人口減少社会において、保健医療福祉の視座から地域経営について考え、課題解決の方法を自ら考えてもらうことを学修のねらいとした。それゆえ、まず、地域の課題を知ることを目的として、高齢化と人口減少の著しい福知山市内の中山間地域にフィールドワークに出かけた。また、独自の進んだ医療体制を確立している舞鶴市の医療について知ってもらうために、舞鶴市にも赴き、医師で元舞鶴市長さんに事後学習をして頂いた。</p>

～本日の研究報告会について、感想をお聞かせください～



上記 QR コードを読み取って回答をお願いいたします